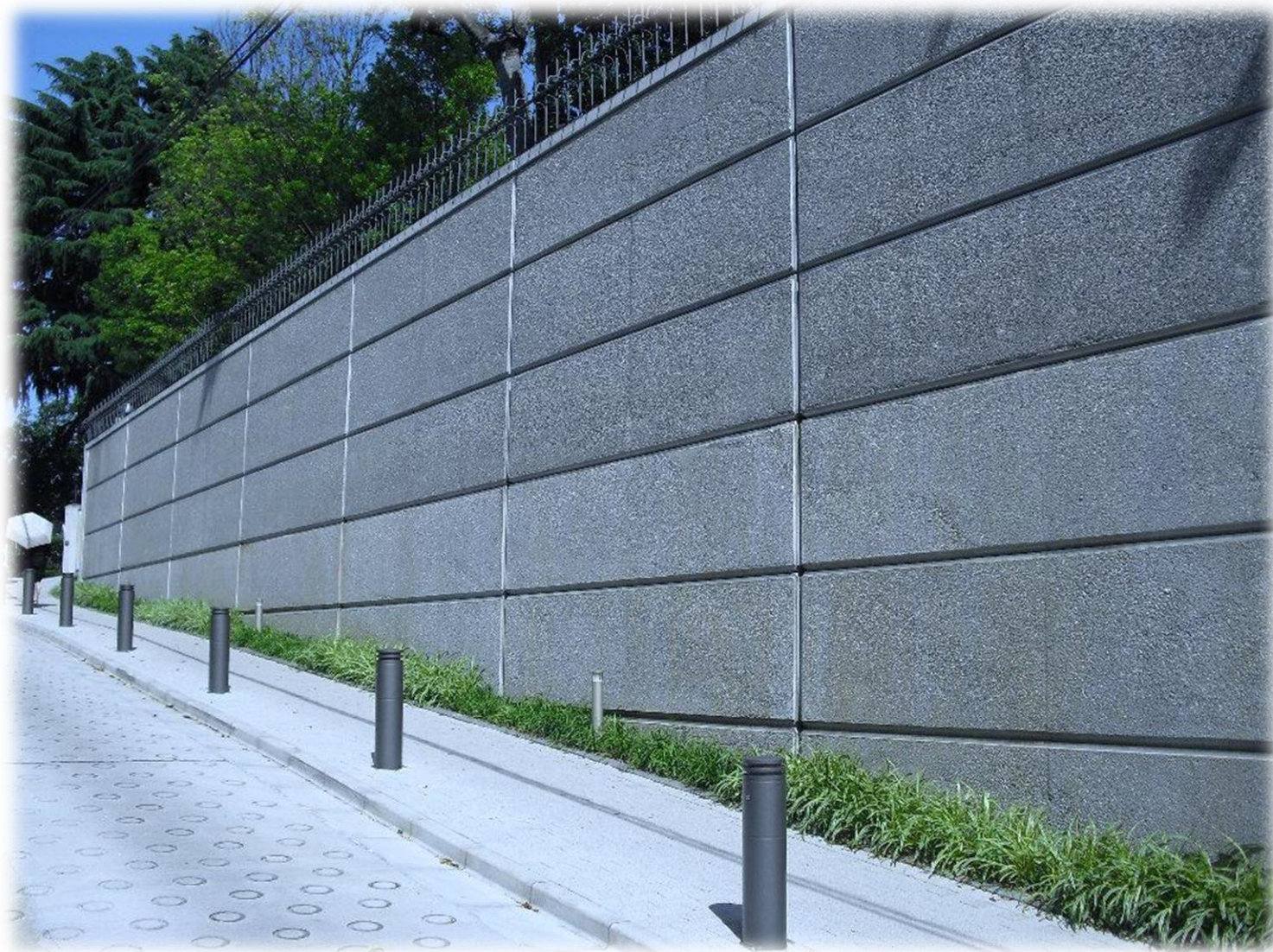


ウォッシュスター WASH STAR

ボードタイプ / クロスタイプ

取扱説明書

ウォッシュスターを安全にご使用頂くために、
ご使用前に必ず本書をお読みください。



 **住友理工株式会社**

1	はじめに	
	ウォッシュスターとは / ウォッシュスターの特長 / 安全上のご注意	2
2	製品種類	3
3	標準施工手順	
	ボードタイプ	4
	クロスタイプ	6
4	取扱注意事項	8

1 はじめに

この度は、洗出し用型枠 ウォッシュスターをご使用頂き、誠にありがとうございます。

本書はウォッシュスターの取扱説明書です。ご使用前に本書の内容をご理解頂き、作業員の方々へ周知の上、本書の内容に従ってご使用ください。

ウォッシュスターとは

ウォッシュスターとは、凝結遅延剤をボードやクロスにコーティングした製品です。

ウォッシュスターを使用してコンクリートを打設し、脱型後に洗出すことで容易に洗出し面を得ることができます。

ウォッシュスターの特長

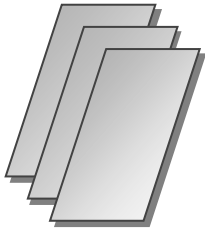
- 従来の凝結遅延剤（薬液）に比べ、均一な洗出し面を得ることができます。
- 洗出し部分と打放し部分のコントラストデザインが可能です。洗出し部分の滲みが少なく、明瞭なコントラストを表現できます。
- 施工を考慮した2種類のタイプを取り揃えております。
- ボードタイプは、600mm×900mm×3mmの発泡スチレンボードに凝結遅延剤を施しています。1枚約200gと軽量です。釘やタッカーで容易に型枠へ取付け可能です。
- クロスタイプはロール幅1mのクロスに凝結遅延剤を施しています。天端や路面の均一な洗出し処理を行うことが可能です。

安全上のご注意

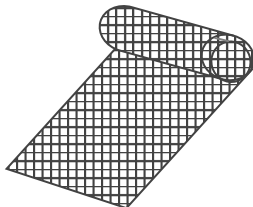
ウォッシュスターは可燃性です。火気には充分ご注意ください。溶接を必要とする際は養生板・シート・水等を用意し、十分ご注意の上、施工をお願いします。わずかですが可燃性ガスが含まれます。できるだけ通気の良い環境でご使用ください。

2 製品種類

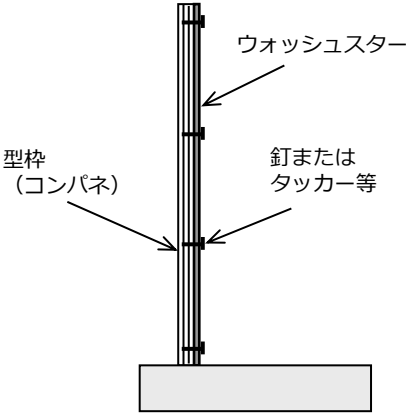
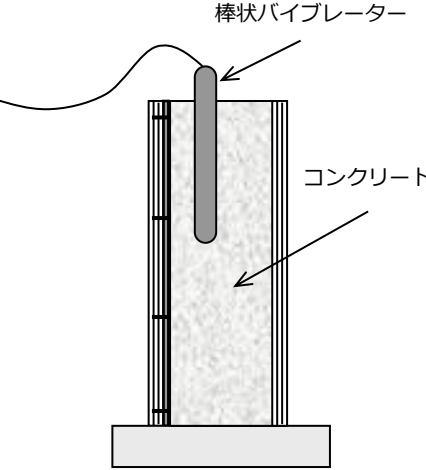
ボードタイプ / 凝結遅延剤処理した約3mmの薄物発泡スチレンボード

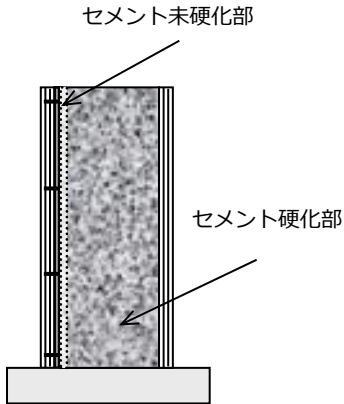
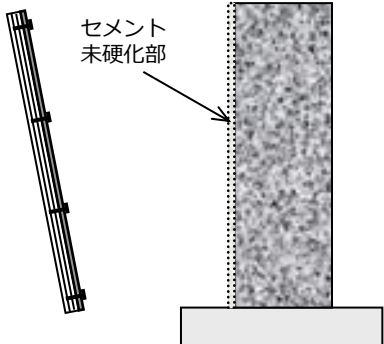
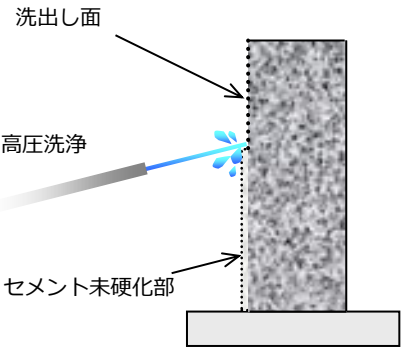
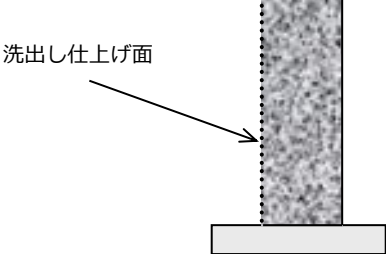
	洗出し深さタイプ	3～5mm程度
	サイズ (mm)	600×900×3
	特徴	・現場施工向けです ・垂直壁面打設用です ・1枚あたり約200gと軽量でボード状であるため、型枠に釘やタッカーで容易に取り付けられ、施工性に優れます。

クロスタイプ / 凝結遅延剤処理したクロス製品

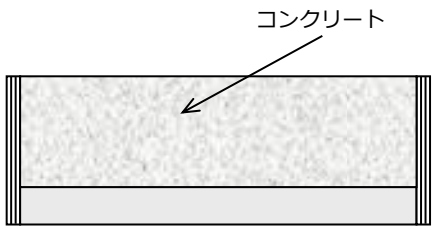
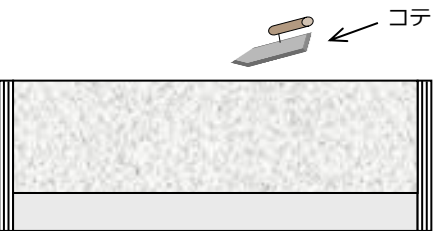
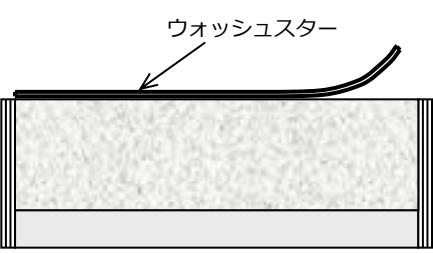
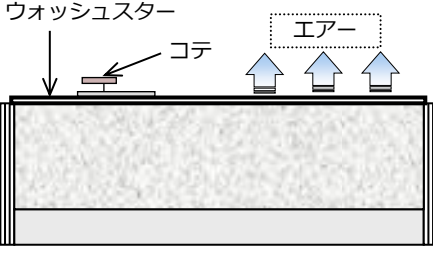
	洗出し深さタイプ	2～3mm程度
	サイズ (mm)	1000×2000、1000×10 (m)
	特徴	・現場施工向けです ・天端の洗出し仕上げ用です ・クロスの隙間からエアーが抜けるので、均一な洗出し面が得られます

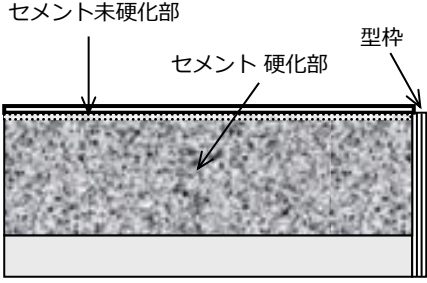
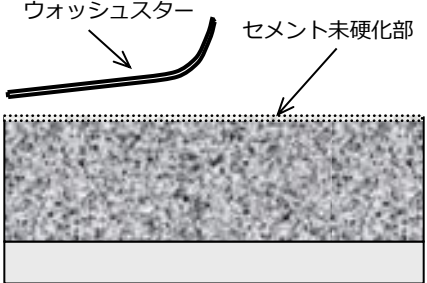
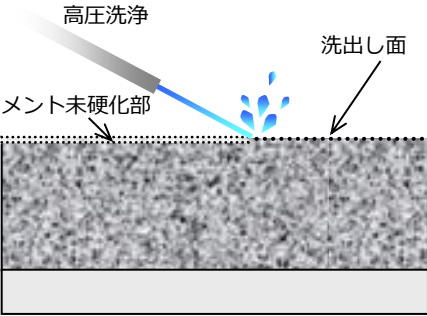
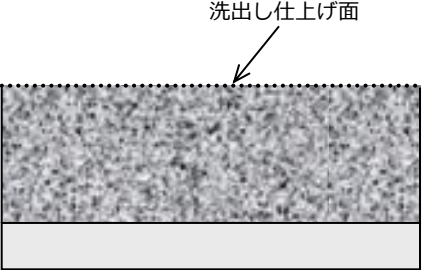
ボードタイプ

(1) 準備	・開口部、打ち継ぎ等を考慮の上、割付を行ってください ・ウォッシュスターは濡れないように保管してください ・発泡スチレン製のため、火気厳禁です ・必要に応じ、のこぎり、カッター等を使用してカッティングしてください
(2) 型枠建込み 	・釘、タッカー、粘着剤、両面テープ等で型枠にセットしてください ・木工用ドリルでセパレーター取り付け穴を開け、セパレーターを取り付けてください ・剥離剤は塗布しないでください 【注意】 灰色面がコンクリート遅延処理面です
(3) コンクリート打設	・コンクリート配合は標準示方書に準じてください ・コンクリートが直接ウォッシュスターに当たらないよう注意して打設してください ・早強セメントは使用しないでください（高炉セメントもお勧めできません）
(4) コンクリート締固め 	・バイブレーターがけは棒状バイブレーターを使用し、コンクリート打込みと同調して行ってください 【注意】 ウォッシュスターに直接バイブレーターが当たらないように注意してください ・バイブレーターがけは十分に行ってください（普通合板と比較すると吸水性が少なく、ジャンカやピンホールが発生しやすいとなっています）

(5) コンクリート養生 	・養生中にコンクリートと型枠の隙間から雨水等が入り込まないようにしてください ・型枠の存置期間は、脱型に必要なコンクリート強度が得られる、なるべく短い期間にしてください（存置期間が長いと、コンクリート硬化遅延作用を低下させ、洗出し仕上げがムラになったり洗出せない部分が発生する原因となります） 【注意】 打設日から、夏季で3日程度、冬季で5日程度の間に洗出しを行うことを目安としています。コンクリートの配合やボリューム、気温により異なります
(6) 脱型 	・型枠の脱型は速やかに行い、脱型当日中に洗出し作業ができるよう工程を組んでください（脱型後、4時間程度までに洗出し作業を行うことが好ましい）
(7) 洗出し 	・高圧洗浄機にてコンクリート表面を洗い流してください 【参考】 距離 1 m：直噴 2 Mpa. 拡散 6 Mpa. ・洗出しは躯体上部から下部に向かって行い、セメント分が躯体に残らないよう水が濁らなくなるまで洗い流してください ・洗出しを行う範囲が少ない場合は高圧洗浄機を使用せず、水を流しながらブラシやタワシ等でこすることで水洗いしてもかまいません ・セメント部が残留すると白華の原因となりますので、十分に洗い流してください ・洗出しの排水には未硬化のセメント分が含まれていますので、打放し面を含む既に仕上がっている面に排水がかかった場合はきれいに洗い流してください
(8) Pコン跡埋込み 	・Pコン跡は通常行う樹脂モルタル充填仕上げを行います。洗出し面よりも少し内側で仕上げをしてください ・Pコン跡の表面を硬化前に洗出し、骨材を露出させるとさらにきれいに仕上がります

クロスタイプ

(1) 準備	・打継ぎ等を考慮の上、割付を行ってください ・ウォッシュスターは濡れないように保管してください ・巻じわが残らないように保管してください ・必要に応じカッター、はさみ等を使用してカッティングしてください
(2) コンクリート打設 	・コンクリート配合は標準示方書に準じてください ・コンクリート打設後、面を平らに均してください 【注意】 過度なコテ均しは骨材が沈む原因となります
(3) 天端仕上げ 	・コテ等でコンクリート表面を均してください
(4) ウォッシュスター貼付け 	・天端面の仕上げ後、コンクリート上面にしわが入らないように注意しながらクロスを貼り付けてください ・コンクリートとウォッシュスターの密着性を高めるため、余剰水があるうちに貼り付けてください ・ウォッシュスターのジョイント部は重なったり離れたりしないよう隙間なく並べてください ・風が強い場合クロスが飛ばないように注意してください
(5) エアー抜き 	・クロスの上からコテ、ローラーなどで押さえ、クロスとコンクリートの間のエアーを抜き、ウォッシュスターとコンクリートを密着させてください 【注意】 強く押さえ過ぎると天端面の平滑性が失われます。特にウォッシュスター端部がコンクリートに食い込まないように注意してください

(6) コンクリート養生 	・養生中は雨やつゆ等に当たらないようにしてください ・コンクリート打設の翌日に脱型、洗出しができるように工程を組んでください ・コンクリートはシートがけ養生をしてください
(7) 脱型 	・型枠を外し、ウォッシュスターをコンクリートからはがしてください ・ウォッシュスターをはがした後、速やかに（4時間程度までに）洗出し作業を行ってください ・ウォッシュスターをはがした後、洗出し作業を行う前に未硬化のモルタルをブラシ等で除去しておく効果的です
(8) 洗出し 	・高圧洗浄機にてコンクリート表面を洗い流してください ・洗出しを行う範囲が少ない場合は、高圧洗浄機を使用せず、水を流しながらブラシやタワシ等でこすることで水洗いしてもかまいません ・セメント分が残留すると白華の原因となりますので、十分に洗い流してください ・洗出しの排水には未硬化のセメント分が含まれていますので、打放し面を含む既に仕上がっている面に排水がかかった場合はきれいに洗い流してください
(9) 完成 	

ご使用前に製品（特に凝結遅延剤の塗布面）を水で濡らさないようにしてください。

洗出し深さは、コンクリートの配合やボリューム、残置期間、気温等により異なります。

コンクリート仕上がりのイメージ、色調は、コンクリートの配合骨材により異なります。

ボードタイプは基材が発泡ポリスチレン製であるため、
火気の取り扱いには充分気を付けてください。

凝結遅延剤（薬液）の成分は、アクリル樹脂塗料、クエン酸金属塩であり危険有害性はありませんが、洗浄排水はセメントの影響でアルカリ性となります。



住友理工株式会社

製品情報サイト：

ウォッシュスター



名古屋営業課
東京営業課
大阪営業課
仙台営業課

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-13 いちご丸の内ビル6階
〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル8階
〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー5階
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-4-22 仙台東口ビル6階

TEL 052-951-5896
TEL 03-5777-9060
TEL 06-6201-6050
TEL 022-791-2301

FAX 052-951-5897
FAX 03-5777-9061
FAX 06-6201-6051
FAX 022-293-5438

202510.WS.011